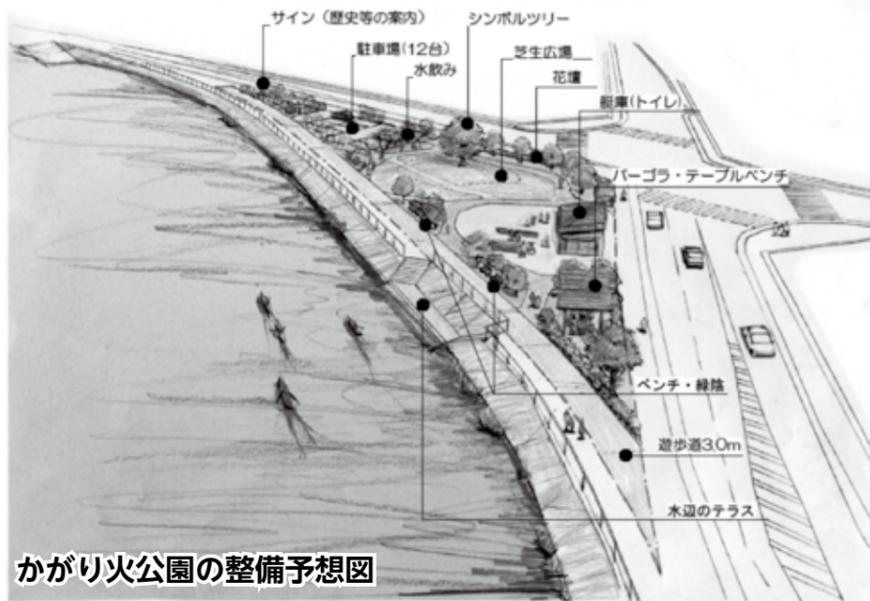


平成25年度 決算を認定

9月定例議会は
平成26年9月1日～
19日まで開催された

一般会計と特別会計

歳入 152億6900万円
歳出 143億4447万円



主な事業

- 1.かがり火公園用地取得と古利根川遊歩道整備事業 3億6156万円(用地買収費用)
- 2.松伏中学校大規模改修事業 2億9446万円
- 3.竜巻被害、復旧・復興事業 3032万円(被災者生活再建支援とがれき収集など)



主な質疑

番号	問	答
1	近年の町税調定額、町税収納額と収納率はどのように推移しているのか。	税務課長 平成25年度の町税調定額は、約34億9508万円で前年度比約8912万円減。また、町税収納額は、約31億3649万円で前年度比約3902万円減だった。なお、町税収納率は89.7%で4年連続上昇した。
2	自治会関連の新規補助金をもたらした成果は何か。	総務課長 自治会等振興補助金は、平成25年度から、従来の「自治会運営事業」に、自治会等が行う「お祭り」などのイベント等に対する補助メニュー「自治会活動魅力アップ事業」を追加し、補助金の拡充を図った。
3	老人福祉センターの開館日変更と周辺整備で、どのように変わったのか。	住民ほけん課長 平成25年度は、日曜日などの休日を開所日に変更し、利用者の利便性が上がった。また、隣接する農村トレーニングセンターの貸出し予約を老人福祉センターで行えるよう管理体制を見直した。さらに旧金杉小学校体育館を解体し、駐車場の整備も行った。
4	通年実施をした就学分子ども医療費の支給状況と課題はあるか。	福祉健康課長 半年間実施の平成24年度と比較して医療費で3倍以上の利用があった。医療費の削減のため、受給者へ適正利用の情報提供を実施した。改善点は、現物支給拡大を埼玉県に要望した。
5	資源ごみ持ち去りパトロールの初期の目的は達成できたのか。	環境経済課長 古新聞などを不法持ち去り防止の為、埼玉県緊急雇用創出基金市町村事業費補助金を活用して、ごみステーションのパトロールや事前回収を実施した。これにより約62トン、売却額で約52万円の回収が出来た。

主な質疑

番号	問	答
6	中間処理場の日曜受付を始めたが、経費と効果はどうか。	環境経済課長 粗大ごみの受付を月2回日曜日に行い、委託料が約50万円増となったが、中間処理場への搬入量は11.6トン、手数料は41万5750円増えた。
7	ウォーキングマップの住民への配布状況と町民の反応はどうだったのか。	環境経済課長 まつぶしウォーキングマップを3千部作成し、役場窓口、町内の各公共施設、講座等で配布した。町内全域の観光スポットや特産品の掲載もあり、楽しく健康増進に取り組めると好評で、新たに5千部作成する。
8	町独自で実施した学力テストは、学力向上に結びついたのか。	教育総務課長 平成25年度全国学力・学習状況調査は、小学校の国語Bと算数Aで全国平均を上回った。1月実施の町学力テストで、1年間の学習の定着度を確認し、次年度の全国・県の学力調査に生かしている。
9	中央公民館設備改修工事で、どのような品質を確保できたのか。	教育文化振興課長 主に舞台音響設備改修工事を実施した。音響設備をアナログ回線からデジタル回線に変え、マイクやスピーカー等の機器を交換することにより、良い音響が保たれ、快適で安全な場の提供が可能となった。